

# 夜回り通信

VOL 1 0

平成18年1月30日

## 献品報告

提供された方 小学校の保護者多数 幼稚園保護者 幼稚園職員と知り合いの方  
高校職員

主な提供品 海苔10枚×4, 米1kg×4, ウーメン4束、リンゴ4個、醤油1,  
味噌2、ホカロン40, タオル10枚、靴2, セーター類11,  
オーバー類8、ポロシャツ類26、ズボン21, トレーナー上6と上下2、  
下着類23、Tシャツ1, 靴下13, ジャケット4,

今月もたくさんのお気持ちをありがとうございました。1月14日の炊き出しに出させて頂きました。

## 夜回り 1月11日

責任者のW会長（カトリック正平協）は車出しのわたしのコースを旧図書館に固定しているようである。車出しの人数が足りないこともあり、やむを得ないと思っていた。ときどきは駅周辺や榴ヶ岡公園方面へも行きたいと思うが、同じコースを毎月定期に回ることにも貴重な意味があった。それは心待ちにしてくれる人たちがいることだった。ましてやわたしは高校生の息子と大学を出たばかりくらいの娘さん（オジョーと呼んでいる）をこのところセットで連れて歩いている。それが最近野宿の人たちにも認知されていて、私が娘と息子連れて夜回りしていると思われるふしがある。

旧図書館の陸橋下ハウスのOさんが「いつもお世話になっているお礼に、拾ったものでこんなものしかないけど……」と、息子とムスメにそれぞれ時計をくれた。部品はそろっていて時計屋に持って行って電池を入れたら十分動く高級品だった。彼らはその手の見つけ物の名人なところがあり、部品をセットにして二人分を紙箱に入れて大事に差し出した。私は感心してただ見とれていた。（後日せっかくの気持ちだからと、時計屋に持って行かせたら、中の部品がなくて修理不能と言われたが、アクセサリにすると息子が言った。）

勾当台公園のMさんは無反応が多い人だが、珍しく咳をしていた。「今日はたばこはダメだね」と言ったら、口を開けて笑った。気をつけてねと言って立ち去るときに「どうもありがとね」と振り向いて笑顔で言った。十年来初めて触れた表情だった。息子とムスメを連れ歩いている効果か？

口の盛んなWさんはお変わり無く元気。炊き出しに誘うと「行く」と言うが、来たことはあまりない。「おら食うもんなんかいらねえ。どんなやづいるかだけ見でくよう。」またホームレス談義が始まる。「どこか調子の悪いところがあったら無料でかかれる病院があるからね。」「痛でえごもかええごもなくて困ったもんだもやあ」……きりが無い。また10分いた。今夜はこの日十八人の野宿の人たちと出会った。

## 炊き出し 1月14日

わたしはぎっくり腰になり動けず、息子が参加。

## 2月の炊き出しは11日（土）になります。

献品がありましたらお預かりしますのでご協力下さい。